

柏市地域包括支援センター事業評価のまとめ

センター名	令和5年度 柏市地域包括支援センター事業評価の講評	令和6年度 柏市地域包括支援センター機能向上に向けた支援
柏北部	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほくほくマップ」や「ほくほくサークル」を作成し、地域住民や関係者が地域特性に応じた情報を得ることができている。 ・今まで講座を行っていない事業所に対し認知症サポーター養成講座を行い、認知症への理解を得ることでオレンジ散歩の拠点として整備を進めた。 ・「キーパーソン不在がもたらす支援困難」という地域課題を地域住民や関係者と地域ケア推進圏域会議にて検討し、「困りごとサポート手引き」の着手へと繋げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期高齢者の運動機能低下が著しいため、前期高齢者を対象としたフレイル予防の意識付け、強化への取組を支援する。 ・キーパーソン不在を含めた多問題ケースに対する課題解決能力の向上のため、多機関連携への取組を支援する。 ・認知症当事者も地域で活躍できるように、チームオレンジの活動強化への取組を支援する。
柏北部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・「手段的サポート提供者割合は高い」ことが強みであるが、「手段的サポート受領者割合が低い」ことからそのアンマッチを解消するため、西原できる倶楽部の立ち上げに携わり、地域イベントを開催し住民同士のマッチングにつなげることができた。 ・地域分析を行い、柏の葉地域のサロンとフレイル予防サポーターと協働でウォーキング講習会を開催し、ウォーキングの会立ち上げの支援を行った。 ・小圏域（西原・柏の葉）ごとにフレイルチェック講座を開催し、ハイリスク者に対し状態の改善につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもりの割合が増え、認知症リスクや要介護リスクが高いため、フレイル予防の普及啓発によりフレイル予防に取り組む高齢者を増やす取組を支援する。 ・認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支援体制の構築を支援する。 ・多世代の社会参加推進を図り、地域の強みや実情に応じた支えあいを推進する取組を支援する。
北柏	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーや相談員の意見を取り入れ移動販売の情報を追加し、地域住民や関係者が地域特性に応じた情報を得ることができている。 ・地域ケア推進圏域会議にて、民生委員や地域住民、介護事業所に協力を依頼し、見守りチームを構築することができた。 ・地域のケアマネジャーに対してインフォーマルサービスの予防プランへの位置付けを積極的に促し、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が支援が必要になった際に地域包括支援センターに早期に相談できるよう、広報誌等を活用し周知する取組を支援する。 ・認知症の方やその家族が認知症の相談窓口を知り、支援が必要な方が医療や介護サービスに的確につながる取組を支援する。 ・高齢者が自身の健康状態の振り返りができ、健康行動につなげられるための取組を支援する。
北柏第2	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座について地域に積極的に働きかけることで、サロンや小学校での新規開催につながり、地域での見守り体制を構築することができた。 ・高齢者虐待事例(疑われる事例含む)についてセンター内で共有後、初期段階で市と連携を取ることで早期解決につなげることができた。 ・支えあい推進員と密に連携を行い、地域住民による自主的なラジオ体操団体の立ち上げにつなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から孤立した高齢者を増やさないためのネットワークづくりや生活改善を行う取組を支援する。 ・高齢期の栄養摂取についての啓発を通じてフレイル予防への取組を支援する。 ・複合課題をもつ世帯への対応を円滑に行えるよう、介護支援専門員と関係機関との連携強化への取組を支援する。
柏西口	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで講座を行ってなかった自治会に認知症サポーター養成講座を行い、地域住民の認知症への理解を広めた。 ・支えあい推進員と連携して豊四季台地域で御用聞きモデル事業を開始し、地域の生活支援体制の整備をすすめた。 ・相談事例解決のため適切な対応を行い、利用者や関係者へのアンケートで高い満足度を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における認知症の理解を深め、認知症のかたに対する見守りの目を増やす取組を支援する。 ・地域住民に地域包括支援センターの役割や相談窓口を知ってもらい、円滑に相談できる体制整備を支援する。 ・フレイルあり割合が高いため、地域住民がフレイル予防を意識した生活ができる取組を支援する。
柏西口第2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源マップを更新し、関係機関等から良い評価を得られている。 ・抽出した地域課題を地域で共有し、次年度の事業計画に反映し課題解決へ向け取り組んでいる。 ・地区社協と連携して小学校2校で認知症サポーター養成講座を開催し、子ども世代の認知症への理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における認知症の方や家族に対する理解を深め、共生社会を構築する取組を支援する。 ・地域住民のフレイル予防に関する意識を高め、フレイル予防を行う地域住民を増やす取組を支援する。 ・地域住民や地域の高齢者に関わる関係者の高齢者虐待に対する理解を深め、虐待の早期発見や対応につなげるための取組を支援する。
柏東口	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源マップに地域のサークルやワニバスの情報を追加し、地域住民や関係者が地域特性に応じた情報を得ることができている。 ・オレンジレンズと協力し、オレンジベンチの普及活動を継続して行い、地域の垣根を超えて認知症の普及啓発を行った。 ・支えあい推進員やふるさと協議会、民生委員とも協力し、フレイル予防講座をシリーズで開催し、地域を巻き込んだ継続的なフレイル予防の取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防のための意識付けを行い、フレイル予防の具体的な行動へつなげる取組を支援する。 ・認知症への理解者を増やすことで認知症の方を支える地域づくりへの取組を支援する。 ・地域のかたに見守りについて意識してもらい、要支援者を早期発見し、困難な状態になる前に支援につなげる取組への支援を行う。
柏東口第2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により状態が悪化したが、その後も継続した支援を行い、状態改善に繋がったケースがあった。 ・包括informationの更新を行い、薬局やコンビニ、スーパーなどに配付した。実際に資料を見てセンターに来所したケースがあった。評価も良かった。 ・地域のイベントにブースを出展し認知症に関する普及啓発を行い、来場者からの評判も良く地域住民の意識醸成につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイルあり割合が高いため、地域のイベントやサロン等へのアプローチを通じ、地域住民の意識が高まりフレイル予防を行える取組を支援する。 ・地域住民や企業の認知症に対する理解を深め、認知症の方への対応ができるよう啓発する取組を支援する。 ・民生委員やケアマネジャーが、キーパーソン不在や経済的困窮の場合の支援機関の役割を知り、連携していく取組を支援する。
光ケ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・センター独自の体操動画を作成しSNSにもアップすることで、サロンや介護事業者にとどまらず、広い範囲にわたってフレイル予防の普及啓発を行った。 ・認知症家族会の立ち上げを支援し、自主的な活動につなげることができた。 ・地域ケア推進圏域会議と同時開催で地域内のインフォーマルサポート団体とケアマネジャーとの意見交換ならびに交流機会を持ったことで、新たなネットワークを構築することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルサービスにとどまらない多角的なケアマネジメントを地域で展開するためのツールの開発を支援する。 ・センターの役割を広く理解してもらえるよう、多世代に向けた周知活動を支援する。 ・インフォーマルサポートと市民のニーズのマッチングが円滑かつ充分に進められるよう支援する。
柏南部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源マップに避難情報やフレイル予防に関する情報を追加して更新することにより、地域に根ざした内容とすることができた。 ・介護職と医療職との連携会議を行いグループワークを行うことで、双方の業務内容の理解及びネットワークの構築につながった。 ・新たな事業所に対して認知症サポーター講座を行い、地域ぐるみで認知症にやさしい環境の醸成に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもりやフレイル者が増えているため、フレイル、オーラルフレイル予防に関する興味や関心を高める取組を支援する。 ・増加傾向にある複合的な課題を有する世帯への支援と関係機関との連携強化への取組を支援する。 ・インフォーマルサービスの周知と理解を促し、ケアプランへの位置づけを推進する取組を支援する。
柏南部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーに対してインフォーマルサービスの予防プランへの位置付けを積極的に促し、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの推進を図った。 ・権利擁護事業において、虐待が疑われる案件に対して速やかに市との連携を図り、早期支援につなげた。 ・支えあい推進員や地区社協と合同で意見交換の場を設けることで、地域のニーズ把握に努め、地域課題を意識することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的役割の低下により、うつ傾向とフレイル割合が増加しているため、外出頻度を増やし、フレイルを予防する取組を支援する。 ・認知症について、家族で抱え込んでしまう傾向があり、症状の悪化や家族の介護負担増につながっているため、地域全体で認知症に対する理解を深める取組を支援する。 ・地域での高齢者虐待についての知識と理解不足により、重度化する傾向があるため、地域住民が権利擁護に関し、理解を深めるための取組を支援する。
沼南	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待案件について、センター内職員及び市と速やかに情報共有を行い、支援方針を迅速に定め、その都度支援方針との整合性が取れているかを確認し早期解決につなげることができた。 ・複合課題を持つ世帯の課題解決に向けて、障害者支援に着目し、地域生活支援拠点と連携を図り、地域課題の検討や共有を行うことができた。 ・地域のケアマネジャーに対してインフォーマルサービスの予防プランへの位置付けを積極的に促し、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険等の高齢者に関する制度や支える仕組みの理解者が増える取組を支援する。 ・地域住民に働きかけ、フレイルや認知症への気づきを促す取組を支援する。 ・専門職による対応力強化や地域住民が社会資源を知ることで、複合的な課題を持つ世帯の早期発見へつなげる取組を支援する。